



たのむぞ、おとな。  
たのまれたよ、こどもたち。  
あたたかいは一とを  
いっぱいとどけにいくよ。

## こどもたちの笑顔を未来に<sup>2</sup>

～ 福島県のこどもたちの現状を知る こどもたちをげんきにする ～

10月14日(祝) 13時30分～17時00分 品川区立総合区民会館「きゅりあん」7階イベントホールA・B

参加費 2,000円 前売 1,500円 (中学生以下無料/こどもげんき特製ピンバッチ付き)

主催: 株式会社meme(ミーム)/こどもげんき

# わたしたちと一緒に、こどもたちへ“はーと”をとどけましょう。



こどもたちをはじめとする被災地・被災者の最新の情報をお伝えします。

第1回「こどもたちの笑顔を未来に(9月15日開催)」に引き続き、なかなか伝わってこなくなった被災地の現実、そこで暮らす被災者、特にこどもたちの現実を実際に現地を視察して得た情報として報告いたします。



こどもたちのげんぎのために、はーとをとどける取り組みが歩みはじめています。

meme / こどもげんぎの動き出した具体的な取り組み、その進捗状況をご報告いたします。また、協力団体による提携プログラムの実績・実例、さらには、友好団体と取り組む共同プロジェクトなどについてご報告いたします。



思いをひとつにする友人からの素敵なひとときをプレゼントします。

「こどもたちの心にげんぎの灯をともしたい」という提案や行動にご賛同いただいた多くのアーティストから応援メッセージが届いています。そして、今回のイベントには、あたたかい“はーと”を持った友人が応援にかけてくれることになりました。イベント後半でのミニライブパフォーマンスにもぜひご期待ください。

※ライブパフォーマンスは現在プログラム調整中です。詳細が決定次第 公式Web サイトなどから発表していきます。

## ■企画 「こどもたちの笑顔を未来に」<sup>2</sup>

～ 福島県のこどもたちの現状を知る こどもたちをげんぎにする ～

■日時 2013年10月14日(祝) 13時30分開場 14時00分開演～17時00分

☆懇親会を計画しています。希望者は事前に申し込みください。(希望者のみ/先着40名様)

■費用 当日券 2,000円

前売券 1,500円

☆参加費は特製ピンバッチ付

☆中学生以下は入場無料

☆懇親会会費 1,000円



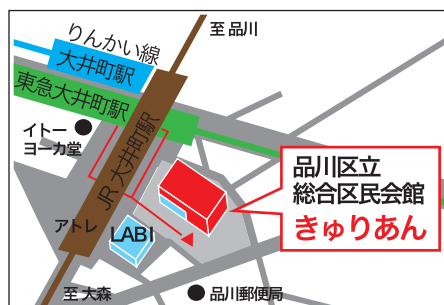
■場所 品川区立総合区民会館 7階 イベントホール A・B

■定員 200名

■対象 こどもたちの未来を考え、こどもたちを応援したいと思うおとなたち

■目的 こどもたちを笑顔にするための情報共有と意見交換、そして、行動づくり

■内容 福島県のこどもたちの現状報告と具体的な取り組みの紹介



〒140-0011 東京都品川区東大井 5-18-1

【最寄駅】

JR 京浜東北線

東急大井町線

りんかい線

大井町駅 徒歩1分

※改札を出てすぐのLABI 上層階にあります。



## 【問い合わせ】

株式会社meme ホームページ「参加申し込みとお問い合わせ」フォームをご利用ください。

〈御注意〉携帯メールをご利用の方は事務局からのメールが拒否される可能性がありますので、お手数でも meme メールアドレスに関して迷惑メール指定解除をお願いいたします。

主催：株式会社meme <http://meme-japan.jimdo.com/>

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-11-9 ビクセル御茶の水 104 素音洞内

Tel : 03-3868-3790 e-mail : [info\\_meme@gmail.com](mailto:info_meme@gmail.com) meme 代表 郷右近丸彦 / 統括マネージャー 植原紫貴

## 主催者紹介



郷右近丸彦 meme 代表

震災発生以降いち早く現地入りし支援活動を行う。福島県に移住してのイベント支援後、東京に戻りmeme 設立。親子共育事業と共に新たな被災地支援活動をスタートさせる。JR 東日本「銀河鉄道 999」プロジェクト、鳥取県境港市「ゲゲゲの妖怪楽園」等を手がけるなど実績多数。



関智 meme プロデューサー

震災以前より原発を止める運動に関わる。震災以降は、子供たちはもちろん被災した動物達の救済活動を行うなど様々な活動から被災者支援復興支援活動に関わる。マーケティングとして、様々な業種の様々な企業活動に参画してきた企画立案とそのオペレーティングの専門家。



柳瀬幸多朗 こどもげんぎ代表

震災発生以前より多くの教育課題に空間デザイナーの立場から取り組む。震災以降は「みどりの東北元気キャンプ」を指導するなど被災した子供達のケアに力を尽くしている。「学校を子供達の居場所に」をテーマとする学校リニューアルプロジェクトを推進中。



植原紫貴 meme マネージャー

子供と親と共に成長していく“共育”理論の提唱者であり指導者。震災以降は、子供はもちろん、子供とどう向き合っていけばよいか悩む親の心のケアなどにも取り組んでいる。様々なカウンセリング手法を修得したBME カウンセラーとしても活躍中。



早瀬和宏 meme 会長

「チェルノブイリ原発事故を契機に原発活動を開始、原発勉強会「原発カフェ」共催、3.11 後「被ばくからこどもをまもる会国分寺」を介し「TEAM 二本松」に無農薬野菜支援活動など幅広く被災者支援活動に取り組んでいる。大手企業のCI 開発などに携わる一方、女子美術大学で永く教授として勤務。その経験を活かし「こどもげんぎ」「meme」のアートディレクターを務める。